

綾瀬市国民健康保険第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）第4期特定健康診査等実施計画（概要版）

1 <<医療・健康情報分析>>

被保険者一人あたり医療費

	H30	R1	R2	R3	R4
円	290,674	299,241	289,061	312,176	313,195

(綾瀬市国民健康保険特別会計決算資料)

疾病中分類別医療費（R4年度：入院外来合計）

	中分類別疾患	疾病別医療費（千円）	割合
1	腎不全	459,672	8.0%
2	その他の悪性新生物	333,603	5.8%
3	糖尿病	320,737	5.6%
4	その他の心疾患	280,463	4.9%
5	その他の消化器系の疾患	218,665	3.8%
6	統合失調症、統合失調症型障害及び変性障害	188,395	3.3%
	総医療費	5,722,786	100.0%

(神奈川県国民健康保険団体連合会分析データ)

特定健診・特定保健指導の状況

	R2	R3	R4
特定健診受診率	32.3%	35.4%	34.5%
特定保健指導実施率	11.2%	16.7%	20.0%

(法定報告値)

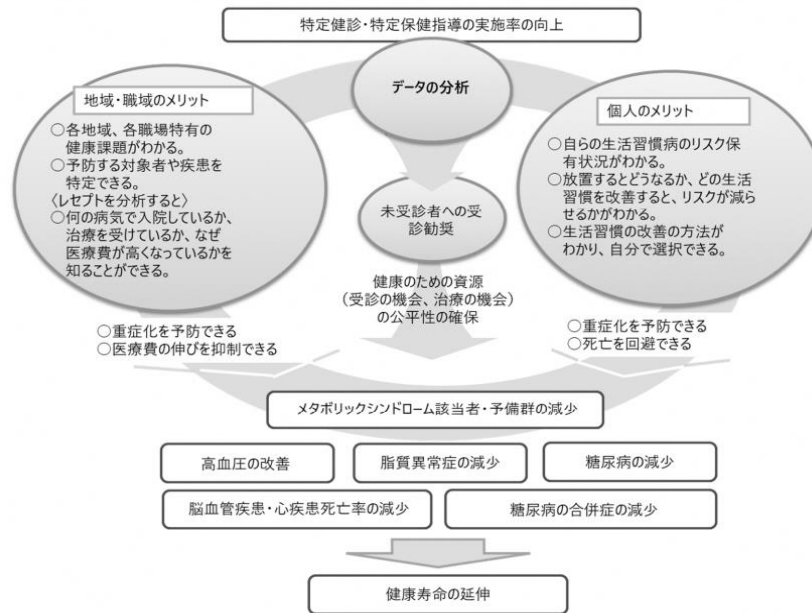
特定健診受診結果の内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）該当者の割合（R4年度）

	男性	女性	男女合計
綾瀬市	36.3	14.4	23.4
神奈川県	32.2	10.0	19.3
全国	32.9	11.3	20.6

(国民健康保険データベース(KDB) システムデータ)

特定健診・特定保健指導と国民健康づくり運動

ー特定健診・特定保健指導のメリットを活かし、国民健康づくり運動を着実に推進ー



3 <<目標を達成するための取組>>

特定健康診査受診率向上対策	日曜（集団）健診受診率向上
特定保健指導実施率向上対策	特定保健指導利用率向上対策 特定保健指導終了率向上対策
生活習慣病重症化予防対策	糖尿病性腎症重症化対策
適正受診対策	ジェネリック医薬品利用促進 重複頻回受診者等対策
生活習慣病の知識普及啓発事業	
新規事業（重点的対策）	
特定健康診査実施率向上対策	・若い世代に注視した受診勧奨対策
特定保健指導実施率向上対策	・日曜（集団）健診時の初回面談分割実施等利用環境の整備 ・インセンティブ（「健康な食事・食環境」認証店のスマートミール）を活用した利用 ・改善・終了率の向上
生活習慣病重症化予防	・医療機関受診勧奨通知に腎機能低下内容を含め、医療機関受診勧奨発送数を増やす。
適正受診対策	・（公社）大和綾瀬薬剤師会との連携
生活習慣病のための知識普及啓発事業	・特定健康診査結果説明会の実施

2 <<解決すべき課題と目標>>

解決すべき被保険者の健康課題

- ・特定健康診査受診率が低く、特に40歳代から50歳代が低い傾向がある
- ・生活習慣病状態不明者と健診異常値放置者の多い傾向がある
- ・医療費は依然として生活習慣病が多くを占める
- ・被保険者一人当たりの医療費は増加傾向にある
- ・適正な受診や服薬に向けた取り組みが十分ではない
- ・平均自立期間と平均寿命が神奈川県や全国平均を下回っている
- ・適正な受診や服薬に向けた取り組みが十分ではない

データヘルス計画の計画全体における目的

生活習慣病の発症及び重症化の予防を図り、医療費の適正化を目指します。

課題から導き出された主な目標

- | | |
|---|------------------------|
| 全 | ①特定健康診査受診率を高める |
| 体 | ②特定保健指導実施率と医療機関受診率を高める |
| 目 | ③生活習慣病の発症と重症化を予防する |
| 標 | ④医療費の適正化を推進する |

4 <<目標の評価指標>>

データヘルス計画全体における目標	評価指標	計画策定時（ベースライン）		目標値					
		目標	実績	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
特定健康診査受診率を高める	特定健康診査受診率★	39.6%	34.5%	40%	40%	40%	40%	40%	40%
	特定健康診査受診率（40歳から49歳）★	—	14.5%	令和4年度実績値よりも向上					
特定保健指導実施率と医療機関受診率を高める	特定保健指導の終了者率★	24.0%	20.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
	特定保健指導による保健指導対象者の減少率★	—	25.8%	令和4年度実績値よりも向上					
	受診勧奨者医療機関非受診率	—	7.6%	令和4年度実績値よりも減少					
生活習慣病の発症と重症化を予防する	HbA1c（血糖）8.0%以上の方の割合と人数★	—	1.1%	令和4年度実績値よりも減少					
	特定健診未受診者かつ過去に糖尿病治療歴があり、現在治療中断している方の割合と人数★	—	43人	令和4年度実績値よりも減少					
		—	1.3%	令和4年度実績値よりも減少					
医療費の適正化を推進する	ジェネリック医薬品の使用割合	80%	81.1%	令和4年度実績値を維持、又は減少					
	多剤投与（6剤以上）方の割合	—	8.8%	令和4年度実績値よりも減少					

※太枠の令和8年度は中間評価年度、令和11年度は最終評価年度

※★は神奈川県が設定した共通の評価指標